

1年生は、入学時の新鮮な気持ちを切らさず、学習や部活動に真剣に取り組みました。会話をすると、礼儀正しい言葉遣いが返ってきて、心が和みました。

2年生は、先輩方をしっかりとフォローしながらも、後輩に中学校生活について丁寧に教えてあげるなど、真ん中の中心学年としての自覚と頼もしさが増してきました。

そして3年生。部活動や生徒会活動をはじめ、学校生活全体において、2年間の経験を生かし、先頭に立って、後輩を力強く引っ張ってくれました。

この1学期を振り返り、悲しい事件や事故も無く、全体として穏やかに過ごして来られたこと、皆さんに感謝したいと思います。

さて、明日から34日間の夏休みに入ります。中学校は大人になるための準備を進める場所ですので、私からのお願いがあります。それは、心をより豊かにするために、どんどん「徳を積んで」欲しいということです。徳とは、立派な行いや品性という意味であり、「徳を積む」とは、とても難しいことのように思えますが、人知れずよい行いをする事なので、皆さんの身の回りにたくさん見られるのです。

落ちていたゴミを拾う。水しぶきの散った洗面所をそっと綺麗にする。お年寄りに席を譲る。店員さんに「ありがとう」という。人の悪口を言わない。相手を敬う気持ちを伝えるために、目をつないで話を聴く。それから、多くの人と「こんにちは」の挨拶を、積極的に交わすなどなど。

今の時代、インターネットで検索をすれば、いくらでも簡単に情報は手に入ります。もちろん、学校で教わる知識やスキルも多く学んでいけばいい。でも、今も昔もとても大切なことは、「人としてどう生きるか」「人としてどうあるか」「人としてどう誠実に生きていくか」ということなのです。この問いを解くために、徳を積むことは有効だと思います。

「現代物理学の父」と評され、ノーベル物理学賞を受賞したアルベルト・アインシュタインの有名な言葉に、

「人間にとって最も大切な努力は、自分の行動の中に、道徳を追求していくことだ」があります。

この夏休み、ゲームやスマホ、パソコンやテレビばかりではない生活、つまり、地域の人や家族との触れ合い、自主トレ、読書や学習、海外研修や地域行事等の体験、ボランティアへの参加など、人や本と交流する時間を多くもち、徳をたくさん積んでください。

結びに2点。3年以上に及んだ工事改修が間もなく終了します。工事関係者の方々の思いを受け止め、校舎を大事にしましょう。そしてもう1点。人生は「いのち」あつてのものです。交通安全、熱中症などの病気、自然災害には十分な注意を払い、心身ともに健康な夏休みを送ってください。

2学期始業式も元気よく登校してくれることを、強く信じています。